様式4

令和8年10月30日

令和8年度　学校関係者評価及び改善策

（ 中間・最終 ）　　広南中学校区 校番 2　学校名　広南小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	・児童の自己評価と，教師の見取り，テスト等の客観性を組み合わせているので分かりやすい。 ・チャレンジマッチの結果と，個人の体力向上は結び付きにくいと感じる。 ・現状から考えると，目標値をもう少し高く設定してもいいのではないか。 ・9年間を通して授業づくりを考えていくことは，深い学びにつながる。一貫教育の利点を実感する。 ・中期経営目標を設定して2年目の取組。児童の実態・実情に応じて計画的・継続的に着実な積み上げがなされていると感じる。
目標達成のための方策の適切さ	A	・児童に寄り添った，細かなアンケートを行っており，方策は十分なされている。また，目標も高く設定していることはよいことだと感じる。 ・教科の特性や児童の実態に合わせた多様な学習方法がされていて，工夫がみられる。 ・家庭と連携した取組は，目標達成のためには不可欠だと思う。 ・地域の方を活かしての取組や中学校と一緒になっての取組は，児童のみならず，互いに良い結果をもたらしている。 ・中期経営目標を設定して2年目の取組。児童の実態・実情に応じて計画的・継続的に着実な積み上げがなされていると感じる。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	・個々の実態を踏まえての個別指導の必要性を感じ，個別支援を中心とした学力補充の時間を設けていくことは重要なことだと思う。 ・新体力テストの結果に重点を置いた分析が必要だと感じる。 ・学年が上がる毎に，児童の意識が高まっていく様子を知りたい。 ・評価計画の自己評価がBだとしても，くらしの文集で学校賞に選ばれたことも含め，全国学力学習状況調査での結果を見ても，素晴らしい学力がついていると思う。 ・中期経営目標を設定して2年目の取組。児童の実態・実情に応じて計画的・継続的に着実な積み上げがなされていると感じる。
今後の改善策（案）の適切さ	B	・体力面に少し課題があるようだが，地域の取組として「みんなで外で遊ぼうDAY」を企画しているので，利用してもらいたい。 ・個別支援を中心とした学力補充の時間・機会をどのように設けるのか，その具体策が知りたい。 ・体力面では，結果の出しやすい柔軟性と投力アップに取組んでみてはどうか。短縄も，年間を通して取組んでも良いと思う。 ・一つ上の学年，または中学校の取組を知ることは，有効だと思う。 ・中期経営目標を設定して2年目の取組。児童の実態・実情に応じて計画的・継続的に着実な積み上げがなされていると感じる。
その他		・総合的な学習の時間での里山実習教育は，本年度6年目になるが，里山を通して，自然学習や体験を行い，子供達には心に残る教育ができたと感じている。今後も継続してほしい。 ・数値は数値として真摯に受け止めながら，子供達にとって良いと思うことは積極的にどんどん取り入れていきたい。 ・「学校関係者評価」の目的を改めて共通理解し，学校運営協議会が「説明会」で終わらないよう，工夫改善していく必要がある。 ・業務改善については，しっかりと取組まれ，良い結果が出ていると感じる。

※ 評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・海と山に囲まれ，地域環境は恵まれている。少ない児童数で，先生の目も行き届いている。 ・地域の教育環境は，他校に比べて良いと思う。この利点を地域と共に進めてもらえたらありがたい。 ・評価計画，結果の分析，改善策等のプリントを前もっていただき，予習をして臨むことで、当日の説明がしっかり理解できると思う。 ・授業参観の時間を少しずつ減らして，その分，後半の協議での各委員さんの意見が聞けたらよいと思う。